事例No.	2106
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	北海道更別村

事例区分	DX

タグ	・交通事業 ・ICT ・移住定住

事例種類	交通

事例内容・タイトル

村民バスと乗り合いタクシーを活用したデマンド交通の整備

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

126 村民バスと乗り合いタクシーを活用したデマンド交通の整備【北海道更別村】

事業の概要

○　更別村では、今後も日本一の畑作地帯として発展していくため、ICT等も活用しながら公共交通体系等を強化し、住民の利便性向上と移住・定住の推進等を図る取組を進めており、農村地域と市街地を結ぶ予約運行型の乗合タクシーや市街地を循環運行する既存の村民バスの増便等の実証運行、交通アプリシステムの開発を進め、令和３年10月から本格運行を開始した。

○　交通アプリシステムでは、乗合タクシーや村民バスの位置情報をリアルタイムに把握できるほか、個人情報利用の同意を得られた方は乗合タクシーの予約をすることができる。





交通アプリシステム
QRコード

【参考情報①】 人口：0.3万人
関連URL：　ー

【参考情報②】農山漁村振興交付金（農林水産省）とは
URL：https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/shinko_kouhukin.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



（更別村）

農村地域において公共交通が利用できない住民からの要望等を踏まえ、令和元年度にアンケート調査を実施し、更別村に安心して住み続けられるような、公共交通網の整備及び買い物をはじめとした生活行動の支援や、免許返納者を含めた移動を支援するため、国の交付金を活用しております。



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



令和元年度から令和３年度までの３か年、農村地域予約運行型タクシー及び市街地村民バスの増便による実証運行や、乗合タクシーの予約・位置情報を把握することが可能なアプリの開発及び実証に、農林水産省の農山漁村振興交付金（参考情報②）を活用しております。

また、令和３年10月から本格運行に伴い、国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業を活用しております。

★担当：更別村企画政策課★

令和3年度事業費　5,046千円
（うち、農山漁村振興交付金（農林水産省）　2,451千円）